

メキシコ モンテレイ工科大学にてシンポジウムを開催しました(2018/9/13-14)

テーマ：指定国立大学、大学連携
場所：モンテレイ工科大学

2018年9月13-14日に、メキシコのモンテレイ工科大学にてシンポジウムを開催しました。このイベントは2017年12月にモンテレイ工科大学が当研究所を訪問し、災害研究に関する意見交換を行った際に、2018年にメキシコにて共同シンポジウムを開催することが決まりました。

当研究所からは、丸谷浩明教授(人間・社会対応研究部門)、木戸元之教授(災害理学研究部門)、マス・エリック准教授(災害リスク研究部門)、泉貴子准教授(地域・都市再生研究部門)が参加し、発表とパネルディスカッションに参加しました。各教員の発表タイトルは以下のとおりです。

- 丸谷教授「Business/Operational continuity of public private organizations in times of major disaster」
- 木戸教授「Importance of seafloor geodetic survey to understand huge earthquakes and associated tsunamis」
- マス准教授「Research experiences and international collaboration on DRR between Japan and Latin American countries」
- 泉准教授「Disaster preparedness on campus and other potential collaboration through the APRU MH program」

モンテレイ工科大学は2017年9月の地震により甚大な被害を受け、キャンパスにおいても新しい建物が現在建設中です。そのようなキャンパスやメキシコシティの被害状況も視察し、今後二大学間の共同研究やその他の連携について議論しました。来年には、モンテレイ工科大学がAPRUマルチハザードシンポジウムをホストすることから、シンポジウムに向けて当研究所も協力していくことになりました。



丸谷教授



木戸教授



マス准教授



泉准教授

文責：丸谷浩明(人間・社会対応研究部門)、木戸元之教授(災害理学研究部門)、
マス・エリック准教授(災害リスク研究部門)、泉貴子(地域・都市再生研究部門)